

旭化成建材(株)等による基礎ぐいの施工データ流用問題への 対応状況について

平成27年12月24日
京都府建設交通部建築指導課
075-414-5340
京都府建設交通部営繕課
075-414-5375

旭化成建材(株)等による基礎ぐいの施工データ流用問題への対応について、府民の安心安全を図るため、この度、京都府における状況を取りまとめましたので、お知らせします。

記

1 データ流用が判明していた物件の安全性の確認状況について

旭化成建材(株)の府内案件49件のうち流用があった物件は3件であり、このうち府所管分が1件ありました。また、ジャパンパイル(株)の流用案件も府所管分で1件ありました。

これらの物件については、本府で確認したところ『現地に傾斜、ひび割れ等の不具合はなく』、また、国の対策委員会※により示された方法により、周辺の地盤調査結果や杭の施工記録等の既存のデータにおいて『施工データが流用された杭は支持層へ到達していると推測できる』ことを国土交通省に確認しました。

- ・工場・倉庫(1件) / 旭化成建材(株)案件
- ・学校(1件) / ジャパンパイル(株)案件

2 府有施設の杭工事の調査状況について

まずは、直近2年間の府の営繕工事約100件を対象に調査したところ、流用の見つかった旭化成建材(株)と同様の既成コンクリート杭を使ったものが3件あり、これらの工事書類について、調査した範囲では、データ流用はありませんでした。

今後、過去5年間(追加調査約150件)の営繕工事に拡大して、同様の杭工事を対象に調査する方針です。

3 今後の予定

再発防止策等については、今後の国の中間報告等を注視しながら、本府の対応を検討します。

※「基礎ぐい工事問題に関する対策委員会」

